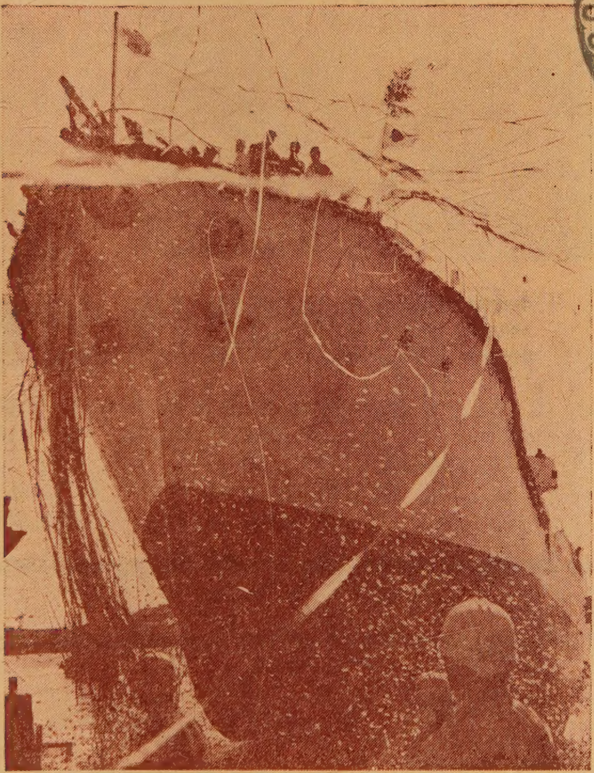
8

October 1955 operations

鮪漁業

Tuna Fishing

13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12
MAY 1958
LIBRARY
POFI
FISH & WILDLIFE
SERVICE



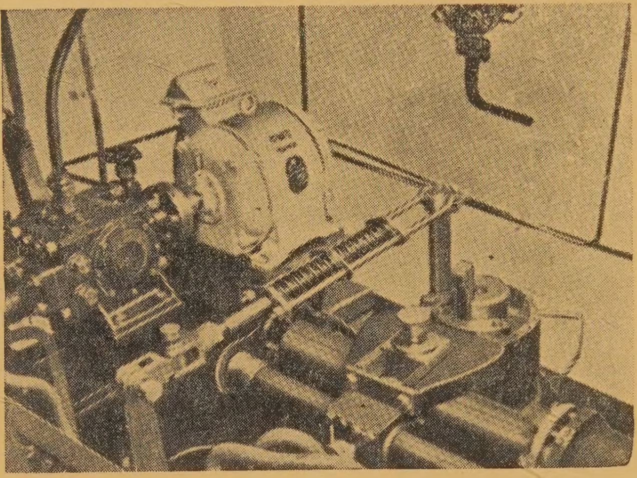
―大型試験調査船相模丸（700屯）進水―

THE INVESTIGATIVE SOCIETY OF TUNA FISHERY
JAPAN

鮪漁業研究会

No. 28, 1956

三菱小型ジャネー式
電動油圧舵取装置



1馬力・2馬力
3馬力・5馬力
を量産中です。

三菱造船株式會社

本社　東京都港区芝琴平町一番地
電話芝(43) 5111・6111 (代表)
営業所　神戸・大阪・福岡
工場　長崎造船所・下関造船所
広島造船所・広島精機製作所

営業品目

商船用・漁船用並びに陸上用無線通信装置の製造
装備・補修一式

七（ナナ）洋（ヨウ）電（デン）気（キ）株式会社

取締役社長　満本英一
取締役　橋本清
取締役　長田孝

本社　東京都目黒区上目黒3丁目1869番地
電話渋谷(46) 8070・0606番

―― 目　次 ――

鮪漁船紹介　　第15事代丸　　第12福吉丸

鮪漁場図　　（昭和30年10月操業）

三崎他四港の水揚調査を主体とする遠洋鮪漁業の考察（昭和30年10月）……………… 1

1. 調査の概要…………………………………………………………………… 1

2. 漁況の概要…………………………………………………………………… 1

3. 各漁場の漁況………………………………………………………………… 2

4. 参考資料………………………………………………………………………11

月別、漁場別、鮪類漁獲調査表（昭和30年10月操業分）別表 1……………………12

月別、漁場別、鮪類体長組成表（昭和30年10月操業分）別表 2……………………14

鮪類標識放流について……………………………………………………………………11

鮪類水揚価格表（三崎）昭和31年2月…………………………………………………22

北太平洋に於ける核実験について（航路告示第191号）………………………………22

標識鮪の再捕により鮪類の広範囲に亘る洄游性と成長度の大なること判明………………23

昭和三十年を顧みて（会員投稿）……………福島丸船長　山口裕一郎……………………24

漁業合理化の推進に是非使御用下さい!!

遂に完成された燃料界の寵児

PCC重油添加剤

通商産業大臣補助金受奨

製造元　日本添加剤工業株式会社

代理店　富士産業株式会社

川崎市浜町1丁目36番地　電話 川崎 (2) 4402

第15事代丸

船　主　事代漁業株式会社
造船所　株式会社　金指造船所

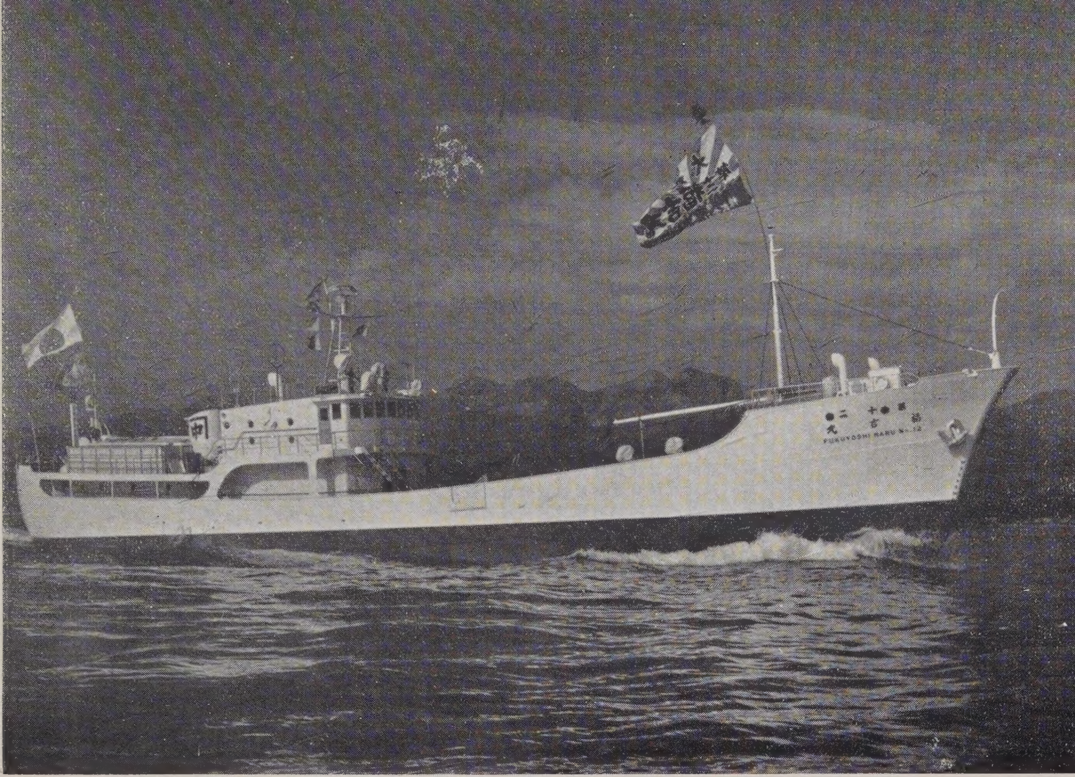
主要寸法	長53.69m×幅9.00m×深4.60m
総屯数	700.03噸
魚艙容積	856.5m³
燃料油艙	346.4m³
速力	最大　13.1節
主機	デーゼル　1200HP　1基
補機	デーゼル　150HP 2基　22HP 1基
無線	500W　75W　各1基
冷凍装置	アンモニヤ直膨式 9″,8″,7″　各1基
レーダー、ローラン、方向探知機	各1式
竣工	昭和30年12月22日

強くて・安くて・腐らない

鮪延縄に絶対経験と信用のあるメーカー

クレモナ 万漁　国産製麻株式会社

本社　東京都中央区京橋三丁目四番地　電話東京(28)6605・6606番
工場　栃木県鹿沼市朝日町　電話(鹿沼)242・243番　同上野町　電話(鹿沼)377番



第 12 福 吉 丸

船主　中村漁業部　鈴木俊平（宮城県）
造船所　株式会社　三保造船所

主要寸法	長 42.80m × 幅 7.50m × 深 3.85m		
総屯数		357.12噸	
魚艙容積		371.13m^3	
燃料油艙		180.84m^3	
速力		最大　11.99節	
主機	デーゼル	650HP	1基
補機	デーゼル	120HP　90HP	各1基
無線		230W　75W	各1基
冷凍装置	日新興業設計施工 アンモニヤ直膨式	7″,6″	各1基
レーダー、方向探知機、音響測深機			各1式
竣工		昭和30年12月26日	

漁船の冷凍装置に定評ある

日新興業株式会社

本社　大阪市北区中之島3の3（朝日ビル）　TEL. 北浜（23）1334. 2351. 9531
東京支店　東京都中央区銀座西6の3（朝日ビル）　TEL. 銀座（57）6804. 6810
清水出張所　清水市三保本村四区　TEL. 清水　2203
三崎連絡所　三浦市三崎町西浜46　海洋電機工作所　TEL. 三崎　443

施工船名
- 第12福吉丸
- 第18光栄丸
- 第2長崎丸
- 第2東水丸
- 第12住吉丸
- 第5高宮丸
- （其の他約弐百隻）

新時代の冷凍機

（高速多気筒）

ダイヤ冷凍機

（新三菱重工製）

漁船船舶冷凍装置・製氷冷蔵凍結施設

設計・製作・施工

株式会社 **東洋製作所**

本社・工場　東京都品川区東品川5の61
電話大崎（49）代表2173～7番（49)6004番営業部直通
営業所　大阪市北区梅田町47（新阪神ビル）
雲話福島（45）4914（直通）9231～5（内線372）

営業種目

船舶・陸上

冷凍・冷蔵・製氷・冷房

冷凍・冷蔵・製氷工場
急速・空気凍結装置
冷房装置・冷凍機械器具
防熱装置・船舶冷凍冷蔵

設計
製作
施工

協同低温工業株式会社

本社　東京都千代田区神田佐久間町河岸58号（夏目ビル2階）
電話下谷（83）0996番

三崎他四港の水揚調査を主体とする遠洋鮪漁業の考察

~~（昭和31年4,5月予報、30年9月現況）~~
（昭和30年10月現況）

三崎　神奈川県水産試験場（野村、齋藤、下里、中込、藤平、石渡）
東京　燒津　南海区水産研究所

1 調査の概要

昭和30年10月分の鮪延縄調査隻数は三崎49，東京79，燒津3，計131で北部太平洋ではミッドウエー海区と35°—40°N，150°—180°Eの海域は著しく増え30°—40°N，180°—140°Wの海域は同数、40°—45°N，150°—180°Eの海域は少くなつて居り、印度洋ではジヤワ沿海のみ増加しその他の水域は少くなつている。体長測定隻數は66，調査海区数は19で漁獲調査隻数と共に9月より増加している。

2 漁況の概要

キハダはハワイ南西海区、南洋南部の5°N以北の釣獲率は低下の途上、5°N以南は以北より高率であるが此の海区としては全体的に低率期でありハワイ南西海区5°N以南の3.0の率は疑問、トンガ海區は低率、ソロモン、ニユーカレドニヤ海区では0°—10°Sは低下過程、10°S以南は上昇し始めで共に稍低率氣味であるが10°—12°Sの激増は異例的、南支那海は稍高く、印度洋は全般的に低率となつている。

メバチの釣獲率はハワイ南西海区、南洋南部の5°N以北は低率期に入り、ハワイ南東海区5°N以北は9月より低下したが非常に高率、南洋北部は著しく低率、南支那海は稍低率、印度洋は12°S以北に多いが中、西部印度洋海区9°S以北は尙高率ではあるが低下し始め北部太平洋の西経漁場は増加し始めで低率、東経漁場は低下し始めで高率である。

ビンナガの釣獲率は、トンガ海区では増え始め、ソロモン、ニユーカレドニヤ海区は7月以降低下して低率、東部印度洋海区は10°S以南が高いが、印度洋全般的に低下して低率、北部太平洋の東経漁場35°—40°Nは魚群の來游により東側から増え始めている。

東部印度洋のインドマグロは東よりに釣獲率高く、魚群が來游して來ている事を示している。

太平洋のクロカワは赤道以北ではなお高釣獲率であるが低下過程、赤道以南は低率

で上昇し始めて居り、魚群は南下過程、東部印度洋では全海域低率期にあり低率である。

ソロモン、ニユーカレドニヤ海区のシロカワは10°—12°Sに急激に増加し、他海域は殆んど釣れていず、東部印度洋海区は全般的に低下過程で低率にあるがスマトラ西岸沿海0°—6°Sは増加過程で此の海区としては高率である。

マカジキの釣獲率は、ソロモン、ニユーカレドニヤ海区では20°—25°Sで著しく上昇、25°—30°Sは低下過程にあるが共に稍高く、20°S以北は低率、東部印度洋では全海域高率期で高く、北部太平洋では35°—40°N, 150°—180°E の海域に漁場が形成されている。

40°—45°N, 150°—180°E の海域では周年通りメカ縄によりメカジキが大量に釣れている。

3 各漁場の漁況

A 太平洋西経中、西部漁場

0°—20°N, 140°W以東の海域　ハワイ南東海区　ハワイ南西海區　トンガ海区

此れら諸海區の5°N以北は6°—11°Nを176°Wから137°Wにわたつて東西に散在して操業、5°N以南は180°—175°Wの西端、赤道以南ではフイジー島とトンガ島の間で操業している。海流は180°線では0°—3°Nは西流5°—9°Nは東流9°N以北は西流、170°W—130°Wでは6°—9°Nに東流の赤道反流が見られる（漁場圖參照）。

（キハダ）

5°N以北の釣獲率は東よりに高く西端で0.47東端で1.27であるが、ハワイ南西海区5°N以北は前号でも記述した様に南側（6°—8°N）に多く10°N近くになると著しく少くなつて居り、此れら海区は共に漸減の過程にある。ハワイ南西海區5°N以南は3.01で27年10月の2.79と大差ないが年々減少して來た30年としてはかなり高率で又8月より再び上昇して居り、トンガ海区は0.77で低率であるが29年10月と略同率と推察され2月頃にかけて上昇過程にあるものと考えられる。

体長組成は0°—20°N, 140°W以東とハワイ南東海區は大型が65%を占め同形、又トンガ海區も全く同形、5°N以北より以南の方が型が大きくなつているが此のハワイ南西海区だけは中型が50—70%を占める形で前記海区と異つて居り、又ハワイ南西、南東両海区共に春—夏季と次第に大型となつているが前者は8,9月頃から小さくなり始めたのに對し後者はなお大型である。

（メバチ）

5°N以北の海域に於いてはメバチの釣獲率も東よりに高く、その差も激しく西端で1.34東端で3.69であるが、西部のハワイ南西海区5°N以北が低率期にあるのに対し0°—20°N, 140°W以東は低率期と判断する事は出來ず、両海区のメバチの関連性については尚今後の調査にまたねばならない。

ハワイ南東海区5°N以北の9月5.68から10月2.38と著しく低下した此の現象も若し0°—20°N, 140°W以東の海区が上昇期ならば東進回游が考えられるが未だ不明である。

体長組成は0°—20°N, 140°W以東は小型以下が極めて少く、ハワイ南西海區5°N以南は小型から若年魚にかけてかなり大きなモードが見られる他はどの海区も中型が最も多く略同形であり、又ハワイ南西海区5°N以北は8月以降次第に型が大きくなつて來ている。

(ビンナガ)

ハワイ南西海区5°N以南の8月に全く消滅した魚群が10月に到つて再び僅かに出現して居り、トンガ海区でも29年12—2月と激減して6月には釣獲率1.78を示していたが10月には3.10を示しかなり上昇して居り、東経漁場とは大分おもむきを異にしている。

(クロカワ)

赤道以南のトンガ海区の釣獲率は極めて低く、赤道以北の諸海区は漸減過程にあるがなお極めて高率を示して居り、南下回游の途上にあると考えられる。体長組成は變化なく、又東よりに型が稍大きいのも従来と同様である。

(マカジキ)

トンガ海区の釣獲率は比較的高く東経漁場と同傾向であるが、6月も高率なのでその間の関係は不明である。体長組成は東経漁場より僅かに型が大きい。

B　太平洋東経中部漁場

旧南洋庁沿海北部(南洋北部)　旧南洋庁沿海南部(南洋南部)

南洋北部では西北端で1隻東南端で1隻が操業、南洋南部では140°—150°Eを除く各海域で操業している。南洋南部各海域の漁況は表1に示す。海流は130°—140°E, 160°—180°E共に0°—3°N西流、5°—9°N東流、9°N以北は西流であるが、130°—140°Eの北赤道流域（西流）の南端は8°30′附近にまで達している（漁場圖参照）。

Table 1　南洋南部各海域の漁況（昭30.10）

区	分	操業海域	調査隻数	操業回数	釣数		キハダ	メバチ	クロカワ
5°N以北	130°—140°E	5°—10°N 132°—140°E	2	19	30,575	尾数 釣獲率	278 0.91	227 0.74	189 0.62
	140°—150°E	8°—10°N 140°—141°E	1	3	3,876		27 0.70	33 0.85	21 0.54
	150°—160°E	5°—10°N 151°—158°E	3	20	24,050		131 0.54	199 0.83	162 0.67
	160°—170°E	5°—7°N 160°—162°E	1	3	4,800		15 0.31	11 0.23	37 0.77
	170°—180°E	6°—11°N 170°—180°E	5	103	170,186		346 0.20	1539 0.90	1175 0.69
〃以南	130°—140°E	1°—2°N 134°—136°E	1	3	4,112		42 1.02	7 0.17	11 0.27
	150°—160°E	3°—4°N 157°—159°E	1	6	9,900		175 1.77	14 0.14	33 0.33
	160°—170°E	0°—3°N 163°—165°E	1	4	6,720		295 4.39	21 0.31	20 0.30
	170°—180°E	1°—5°N 170°—180°E	3	19	30,440		628 2.06	71 0.23	103 0.34

（キ　ハ　ダ）

5°N以北の釣獲率は130°—140°Eは上昇期にあつて漸増しているが28年以降減衰して來ているので低率、140°—150°Eは2.5に達し比較的高かつた春季の高率から170°—180°Eは僅かに高かつた夏季の高率から低下し150°—170°Eの海域と共に極めて低率であり、以南では130°—140°Eは春季の高率から激減して極めて低率で以北と大差なく、150°—160°E, 170°—180°Eは漸減で中程度の1.80, 160°—170°Eは突發的に非常な高率4.40を示している。

体長組成は南よりに、又東よりに型が大きくなつて居り、9月に比べて170°E以西は型が小さく以東は大きくなつているが以東の組成の121—130cmのモードは5°N以北のもので151—160cmのモードは以南のものである。

（メ　バ　チ）

5°N以北の釣獲率は全般的に9月より稍低下或は同率で0.7—1.0を示し、160°—170°Eは激減で0.23を示し、全海域低率期にある。体長組成は170°E以西は9月より型が小さくなつて居り、以東は8月以降次第に大きくなつている。

（ク　ロ　カ　ワ）

釣獲率は全般的に低下の過程にあり、南洋北部はかなり低下して170°E以西0.18以東0.29. 南洋南部170°E以西は0.49でなお高率、以東も同率で0.52であるが此の海区としては夏季よりかなり低下している。南洋南部の体長組成は以西以東共に8, 9

月より稍型が小さい。

C 太平洋東経南部漁場

ソロモン海區　ニューカレドニャ海區

ソロモン海区はギルバート諸島とソロモン群島の間で2隻、他はアラフラ海入口にて操業、ニューカレドニャ海区は全船西端のオーストラリヤ東岸近くで操業している。各海域の漁況は表2に示す海流は要所が調査されているので比較的明瞭である（漁場圖參照）。

Table 2　ソロモン、ニューカレドニャ海区各海域の漁況

区　分	操業区域	調査隻數	操業回數	釣　數		キハダ	メバチ	ビンナガ	クロカワ	シロカワ	マカジキ
0°—5°S	1°—5°S 170°—175°E	2	20	31,530	尾　數	580	92	10	184	1	24
					釣獲率	1.84	0.29	0.03	0.58	0.0	0.08
5°—10°S	5°—9°S 161°—170°E	1	17	27,380		242	164		243		
						0.88	0.60		0.89		
10°—12°S	10°—12°S 145°—161°E	4	26	42,260		1796	33	11	67	286	1
						4.25	0.08	0.03	0.16	0.68	0.0
12°—15°S	12°—13°S 144°—157°E	5	74	137,195		2601	157	1082	170	868	154
						1.90	0.11	0.79	0.12	0.63	0.11
15°—20°S	15°—20°S 146°—157°E	6	43	62,170		1004	97	220	35	1031	52
						1.61	0.16	0.32	0.06	1.66	0.08
20°—25°S	20°—25°S 154°—180°E	7	80	146,436		1333	210	1479	102	47	883
						0.91	0.14	1,01	0.07	0.03	0.60
25°—30°S	25°—28°S 153°—161°E	5	28	50,668		682	82	1203	15	9	179
						1.35	0.16	2.37	0.03	0.02	0.35

（キ　ハ　ダ）

0°—5°Nの釣獲率は130°—180°E全般的に低率期にあり170°—180°Eも1.85, 5°—6°Sも全海域低率期で160°—170°Eも0.9, 10°—12°S全般に高率で特に西よりに著しく140°—150°E 5.1, 150°—160°E 3.2, 160°—170°Eは1.8, 12°—15°Sは140°—150°Eと150°—160°Eと變化は異る樣であるが略同率で1.6, 2.1, 15°S以南は全般的に低率であるが15°—20°S, 140°—160°Eは1.65, 1.50で稍高く、9月から上昇し始めている。

体長組成はソロモン海區では8月以降次第に型が大きくなり、ニューカレドニャ海区では7月以降小さくなつているが、ニューカレドニャ海区の9月の2モードは10月には小型の小モードが消え單モードとなつたので平均体長には大差が見られない。

（メ　バ　チ）

釣獲率は0°—5°Sは9月より稍低下して0.29, 5°—10°Sは著しく上昇して0.60となり此の海区としてはかなり高いが10°S以南は低下して極めて低い。ソロモン海区

の体長組成の平均体長は9月と大差ないが散らばり（分散）は稍小さくなつている。

（ビンナガ）

著しく釣獲率は低下し全海域低率であるが南方の25°—30°S はなお高率 2.40, 20°—25°S も 1.00 を示している。体長組成はソロモン、ニユーカレドニヤ海区共に稍型が大きくなつているが略同形である。

（クロカワ）

北側から増え始めて居り釣獲率は 0°—5°S 0.58, 5°—10°S 0.89 で 10°S 以南はなお著しく低率である。此れから次第に南下回游を続け南部の釣獲率は上昇して行くと考へられる。体長組成は両海区とも9月と同形で小型魚が著しく多く、モードを形成している。

（その他のカジキ類）

シロカワの釣獲率は10°—20°S は非常に多く、その北側と南側は殆んど居ないが10°—20°S が高くその南側が低くなつているのは注目に價する。

マカジキの釣獲率は29年には 9, 10, 11 月と非常に高かつたが30年には10月に到つて20°—25°S が高率0.6となつた他は全海域極めて低く注目の必要がある。

D 西太平洋方面

南支那海

6ケ月ぶりで調査され1隻がヴエトナムの東方で操業している。

（キハダ）

高釣獲率の期間と推察され 2.70 で比較的高く、11月以降は漸減すると思われるがその変化は注意を要する。

（メバチ）

釣獲率は上昇期で中程度の 0.94 を示して居り、冬季にかけて更に上昇すると思われる。

E 東部印度洋方面

小スンダ，チモール沿海　ジヤワ沿海　スマトラ西岸沿海　濠洲西方海區

殆んどの船が小スンダ，チモール沿海西端からジヤワ沿海にかけての10°S線附近からスマトラ島南西にかけて操業し、1隻が濠洲東岸近くの 23°S 附近で操業している。10°S, 110°—120°E のジヤワ東部、バリン、ロンボック島の南側の海流は復雑で西流、東流、南流が見られる。濠洲西岸の沿海近くは北流、岸からへだたつた方に南流が見

られ従來と同傾向であるが、濠洲北西端の極く沿岸近くにも南下流が見られる。

（キハダ）

小スンダ，チモール沿海の釣獲率は低率期に当り極めて低く、ジャワ沿海は中程度で12°S以北は以南より高率であるが以北は9月より稍上昇、濠洲西方の20°—30°S 105°—115°Eの海区は3.30で極めて高率、スマトラ西岸沿海も稍高く6°S以北、以南共に上昇しているが、此れら海区としては共に低率期の末期に当るものと思われる。

体長組成はジャワ沿海では小、中型が極めて多く散らばり（分散）が大きく、28年10月、29年9, 11月の組成と形が異なる。

（メバチ）

釣獲率は小スンダ，チモール沿海12°S以北は9月と殆んど同率、ジャワ沿海は1.5以上でかなり高く、又南側より北側の方が多く12°S以南は殆んど見られないが、船による漁況差の方が著しい。濠洲西方海区は例年の如く殆んどなく、スマトラ西岸沿海は0°—6°Sは3.15で極めて高く8月以降漸増しているが、6°—12°Sは北側は低下、南側は上昇していてジャワ沿海12°S以北と同傾向である。

ジャワ沿海の体長組成は小、中、大型の151—160cmが多く散らばりが28年10月、29年9月と、型の大きさが29年11月と異つている。

（ビンナガ）

小スンダ，チモール沿海、ジャワ沿海の12°S以北及びスマトラ西岸沿海の0°—12°Sの釣獲率は夏季の高率から低下して極めて低率であるが、ジャワ沿海の12°S近くは0.9で比較的高く、スマトラ西岸の12°S近くも2.85で極めて高い。12°S以南は高率で特に20°—30°Sは4.5で著しく高率であるが全体的に低下過程にある。

体長組成は29年11月と全く同形である

（インドマグロ）

前号で述べた如く小スンダ，チモール沿海は比較的、又12°S以北は特に高率の時期で10月も12°S以北は2.45で高率、ジャワ沿海も12°S以北は1.70で高いが、前者が9月より低下しているのに対し後者は上昇して居り、又12°S以南は両海区とも低く特にジャワ沿海の全く釣れていないのに對し、ジャワ沿海12°S以北は南側に率は高く北側では9, 10月共に殆んど釣れていない。

（クロカワ）

スマトラ西岸沿海6°S以北の釣獲率も9月から低下し、9月より上昇した同海区6°—12°Sを除く全海域が低率期にあり低く、20°—30°S, 105°—115°Eも低い。又小スンダ，チモール沿海の12°S以北は北側より南側の方が率が高いがスマトラ西岸沿海

6°—12°S は南側より北側の方が高い。

体長組成は太平洋の 160°W 以東と同形で以西より型は大きい。

（その他のカジキ類）

ジャワ沿海12°S以北とスマトラ西岸沿海 6°—12°S のシロカワの釣獲率は著しく低下して居り全般的に低いが、スマトラ西岸沿海 0°—6°S は8月以降上昇過程にあり此の海区としては高いがジャワ沿海 12°S 以北と略同率、ジャワ沿海 12°S 以南のみが 0.42 で極めて高い。

マカジキの釣獲率は全海域高率期にあるが全般的に 12°S 以南の方が以北より高く、又以北のうちでも南よりに高く、ジャワ沿海の 12°S 以南は 1.80 で特に高く始めての高率である。

ジャワ沿海のシロカワの体長組成は若年魚が著しく多く注目されるが、マカジキは濠洲東側より、又中、西印度洋方面よりも稍、型が小さくなつている。

F 中、西印度洋方面

中部印度洋海区　アラビヤ海区　西部印度洋海区

赤道以南は 0°—10°S を 46°E から 87°E にかけて全般的に操業、アラビヤ海区はアフリカ、ソマリランドのモカディッシエ東北東 55°E 附近で操業している。赤道以南の 75°E 附近の海流は 5°30′ 附近以北は東流、以南は西流で、又此の間に南下流も見られ赤道反流と南赤道流の混合海域の説（上村）と對照させて注目される。70°E 線では 1°N でも東流が見られる。

（キ　ハ　ダ）

2°—9°S, 70°—80°E と 2°—9°S, 50°—60°E の両海域の釣獲率は8又は9月より稍低下、他の赤道以南の諸海区は全般的に比較的著しい低下をして居り此れらの海域としては低率である。

体長組成が西よりに型が大きくなつているのは従来の通りであるが、中部印度洋海区は10月より稍型が小さく9月と同形、アラビヤ海区は5月より稍大きく、西部印度洋海区は7月以降 131—140cm にモードがあり6月以前より稍小さく、101—110cm の小モードは8月以降消滅している。

（メ　バ　チ）

全海域高率期にあり比較的高いがどの海域も低下し始めか低下過程にあり、海域によつてはかなり低下して低率となつている。体長組成は3海区略同形であるが西部印度洋海区のみ大型が著しく多く中型が少く、中型の多い他2海区と異つて居り、中部印

度洋海区は9月と同様中型より小型のモードの方が大きく、7月とは逆、アラビヤ海区は5月より遙かに型が大きく、西部印度洋海区は7月以降同形である。

Table 3　印度洋諸海域のキハダの漁況 (昭30.10)

	40°E–50	50–60	60–70	70–80	80–90
10°N–2°N		6.85			
2°N–0°				3.90	1.30
0°–2°S					2.55
2°S–9°S	8.70	7.65	4.80	6.15	3.60

	90°E–105	105–115	115–
–6°S	2.65		
6°S–12°S	2.00	2.20	1.10
12°S–20°S		1.30	
20°S–30°S		3.30	

Table 4　印度洋諸海域のメバチの漁況 (昭30.10)

	40°E–50	50–60	60–70	70–80	80–90
10°N–2°N		1.75			
2°N–0°				0.35	1.25
0°–2°S					0.65
2°S–9°S	2.80	1.05	0.50	0.70	1.75

	90°E–105	105–115	115–
–6°S	3.15		
6°S–12°S	北1.25 南1.80	北2.30 南1.80	0.60
12°S–20°S		0.25	
20°S–30°S		0.40	

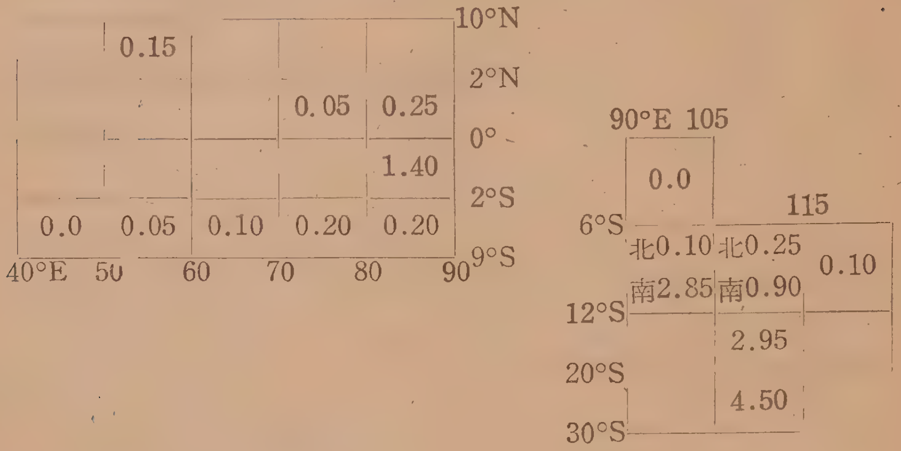
(ビンナガ)

概して0°—2°S及び10°S附近以南は高い釣獲率を示し從來と同様の傾向であるが0°—2°S, 80°—90°Eは9月と略同率で稍高いが、他は全海域夏季より低下して低率である。中部印度洋海区の体長組成は東よりに型が大きく、7月の同海域0°—3°S, 88°—89°Eの組成と同形である。

(クロカワ)

全海域、東部印度洋方面と同様夏季から低下して低率を示している。体長組成は太平洋の西経漁場と略同形で東経漁場より稍型が大きいが8, 9月との差はあまり大きくない。

Table 5　印度洋諸海域のビンナガの漁況（昭30.10）


10°N
2°N
0°
2°S
9°S
0.15
0.05
0.25
1.40
0.0
0.05
0.10
0.20
0.20
40°E
50
60
70
80
90
90°E
105
115
0.0
6°S
北0.10
南2.85
北0.25
南0.90
0.10
12°S
2.95
20°S
4.50
30°S

（その他のカジキ類）

釣獲率は概して低いが、中部印度洋海区のマカジキ、西部印度洋海区のシロカワ、マカジキは稍高く此の海区としては高率期にあり、西部印度洋海区のシロカワは更に上昇している。マカジキの体長組成は東部印度洋方面より僅かに型が大きい。

G　北部太平洋方面

30°—40°N, 180°—140°W の海域　ミッドウエー海区　40°—45°N, 150°—180°E の海域　35°—40°N, 150°—180°E の海域

西経漁場 180°—150°W では殆んどが 30°N の南北附近、東線漁場では 35°—40°N, 150°—160°E に 29 隻、160°—170°E は 35°N から 45°N にかけて 11 隻、170°—180°E は 35°—42°N に 8 隻が操業している。潮流は復雑であるから操業圖を參照されたい。註、同圖の釣獲率はメバチ 1.6, マカ 0.1 と訂正。

（メバチ）

西経漁場では 9 月と略同程度の釣獲率で、此の内ミッドウエー海區は上昇し始めの時期で 8 月より僅かに上昇して居り更に上昇するものと思われ、30°—40°N, 180°—140°W の海域は 28, 29 年の變化と異るが、両海區を比較すると後者の方が高い。東経漁場の 35°—40°N, 150°—180°E の海域は高率期であるが 8 月以降低下して居り更に低下を續けるものと思われる。40°—45°N, 150°—180°E の海域で操業の船は全船メカ縄船のため不明である。南西よりに高率となつているのは從來の通りである。体長組成は海域間に特に著しい差は見られない。

（ビンナガ）

西経漁場では殆んど釣れていないが東経漁場は 150°—160°E 0.30, 160°—170°E 0.77, 170°—180°E 2.55 と東よりに著しく高釣獲率で7月以降緩やかに上昇して來ており、魚群が此の海域にまで來游して來ている。40°—45°N, 150°—180°E の海域はメカ縄船のみのためメバチと同様不明であるが、恐らくこの海域にももう相當量が来游して來ているものと推察される。

体長組成は中型が多いが 40°N 以北の方が以南より稍型が小さくなつている。

（カジキ類）

マカジキの漁場は 35°—40°N, 150°—180°E の海域に形成されており釣獲率は西よりに高くなつているが、西経漁場の 30°N 附近にも小漁場が形成されている。

メカジキの漁場は西経漁場 180°—150°W の 30°N 線附近に形成され始め、釣獲率は次第に上昇し始めており、31年1月頃、ミッドウエー海區 0.10, 30°—40°N, 180°—140°W の海域は 0.15 附近にまで達し最高になる事が推察される。40°—45°N, 150°—180°E の海域は全船メカ縄船のため著しい高率となつているが、此の海域は毎年此の時期に釣れている。マカジキの体長組成は東よりに型が大きくなつているが、西經漁場に達すると又小さくなつている。

4 参考資料

3号榮丸は 7°—8°N, 157°—152°W のファンニング島北東で9月30日から10月5日にかけて操業し「水色良好なる場所は漁なく、水色悪い場所はキハダが多い。淺瀬に近寄る程目鉢の魚体は大くなる。」と報告している。

……

鮪類標識放流について

1 昭和31年1月11日より2月10日までの間に放流実施の委託をなした船數は5（標識45本）である。

2 昭和31年1月11日より2月10日までの間に放流実施の報告のあつた船數3, 放流尾數16, である。

放流實施船名及び放流実施の概要

船名	標識番号	放流年月日	放流位置	魚種（尾數）
宮崎丸	A 0132—135	30.11.30 12.3— 8	5°—6°N 133°—136°E	きはだ（4）
7黒潮丸	A 0416—417 419—420	31.1 .11	20°—30°S 114°—115°E	きはだ（4）
12丸高丸	A 0731—733 736—740	31. 1. 1	32°45′N 146°50′W	めばち（8）

Catch rates, October 1953

月別、漁場別、鮪類漁獲調査表

Ground 漁場	Operating 操業区域 area	Ships 調査隻數	Water temp 水温(°C)	流向 Current 流速	Stations 操業回數	Baskets 漁具數	Hooks 鈎數		YF きはだ	ま BE めばち
30°—40°N 180°—140°W	28°—37°N 179°—153°W	13 (2)	21.4 25.8		313	103,983	451,734	尾数 鈎獲率	408 0.09	7181 1.59
Midway ミッドウェー	27°—32°N 179°—158°W	13	20.0 26.3		274	93,938	400,741	Number C/r	427 0.11	4860 1.21
0°—20° N 140°W以東	6°—8°N 141°—137°W	2	27.4 27.8		49	18,985	94,925		1209 1.27	3499 3.69
of awaii ハワイ南東	6°—11°N 159°—140°W	6	24.2 28.0		145	55,732	230,788		2310 1.22	5591 2.42
W of awaii ハワイ西 N of 5° N 以北	4°—11°N 174°—162°W	6 (1)	26.7 29.0		116	42,535	194,369		904 0.47	2601 1.34
ハワイ西 S of 〃 以南	1°—7°N 180°—175°W	2	25.5 28.4		46	16,459	75,505		2274 3.01	365 0.48
Tonga トンガ	19°—22°S 178°E-176°W	1			20	6,600	39,600		305 0.77	201 0.51
Trust rr. 南洋 W of 170° E 以西	17°—20°N 132°—134°E	1	28.7 29.1		13	3,380	23,660		326 1.38	94 0.40
北部 E of 〃 以東	10°—11°N 173°—174°E	1			11	4,400	22,000		141 0.64	51 0.23
Trust rr. 南洋 W of 170° E 以西	0°—10°N 132°—174°E	5	27.8 30.1		69	24,153	104,193		1125 1.08	553 0.53
南部 E of 〃 以東	1°—11°N 169°—180°E	5 (1)	26.2 28.9		144	54,429	244,151		1113 0.46	2159 0.88
olomons ソロモン	6°—15°S 144°—174°E	8	25.5 29.2		190	71,725	346,350		6006 1.73	927 0.27
. Caledonia ニューカレドニヤ	16°—28°S 146°—160°E	7	20.0 27.8		194	68,206	336,714		4302 1.28	651 0.19
. China Sea 南支那海	8°—15°N 111°—114°E	1	28.8 29.8		19	6,650	26,600		713 2.68	251 0.94
unda Timor 小スンダチモール	10°—12°S 115°—117°E	1	27.3 28.3		17	7,010	28,040		320 1.14	346 1.23
Java ジヤワ	8°—12°S 105°—117°E	5 (1)	26.3 28.5		132	53,220	228,640		4544 1.99	5412 2.37
stralia 濠洲西方	18°—23°S 110°—115°E	1	21.1 26.4		41	15,340	62,080		1591 2.56	231 0.37
matra スマトラ西岸	2°—10°S 94°—104°E	(2)	26.5 29.4		20	8,000	32,000		630 1.97	568 1.78
Indian cean 中部印度洋	0°—7°S 72°—87°E	3	26.6 28.9		75	27,638	132,070		7114 5.39	990 0.75
abian Sea アラビヤ	4°—5°N 54°—56°E	1			29	11,687	58,435		4110 7.03	999 1.71
Indian cean 西部印度洋	2°N—9°S 45°—75°E	3	25.7 28.3		172	66,126	290,984		19525 6.71	4256 1.46
40°—45°N 150°—180°E	40°—44°N 159°—173°E	5	14.9 22.0		77	16,653	106,698		3 0.0	34 0.03
35°—40°N 150°—180°E	34°—41°N 149°E-179°W	39	19.4 25.8		798	213,129	867,613		300 0.03	5401 0.62
Total 計		131			2965	989,978	4,397,890		60200 1.37	47221 1.07

(昭和30年10月操業分)

(別表 1)

ぐろ			かじき									
AL びんなが	BT 黒まぐろ	SBF いんどまぐろ	BM くろかわ	WM しろかわ	SM まかじき	BB めかじき	SF ばしょう	かつを SJ	Misc 雑	さめ SK	Total	記事
182	3		466	3	599	81	6		320	708	9957	サメ未調査12(1)
0.04	0.0		0.10	0.0	0.13	0.02	0.0		0.07	0.16	2.20	体測船數 6
99			306	3	732	111	6	6	357	1044	7951	8
0.02			0.08	0.0	0.18	0.03	0.0	0.0	0.09	0.26	1.98	4
68			721	24	19	29	60		100	64	5793	2
0.07			0.76	0.03	0.02	0.03	0.06		0.11	0.07	6.10	1
6			1066	29	74	35	79	11	196	724	10621	4
0.0			0.46	0.01	0.03	0.02	0.03	0.0	0.08	0.31	4.60	6
15			1252	8	14	24	29		61	77	4985	5
0.01			0.64	0.0	0.01	0.01	0.01		0.03	0.04	2.56	4
69			263	14	70	15	1		30		3101	2
0.09			0.35	0.02	0.09	0.02	0.0		0.04		4.11	2
1228			48	4	269	11	1		154	73	2294	0
3.10			0.12	0.01	0.68	0.03	0.0		0.39	0.18	5.79	1
51			43	2	2	4			101		623	1
0.22			0.18	0.01	0.01	0.02			0.43		2.63	0
6			64	9		7	12				290	1
0.03			0.29	0.04		0.03	0.05				1.32	1
126			512	20	51	21	101	15	38	447	3009	2
0.12			0.49	0.02	0.05	0.02	0.10	0.01	0.04	0.43	2.89	1
12			1259	5	97	10	51	38	136	635	5515	1
0.0			0.52	0.0	0.04	0.0	0.02	0.02	0.06	0.26	2.26	4
2307			1051	1023	339	70	112	68	670	446	13019	5
0.67			0.30	0.30	0.10	0.02	0.03	0.02	0.19	0.03	3.76	6
2794	1		589	1923	1122	195	44	11	160		11792	7
0.83	0.0		0.17	0.57	0.33	0.06	0.01	0.0	0.05		3.50	5
			8	7	2	11	14		14		1020	1
			0.03	0.03	0.01	0.04	0.05		0.05		3.83	0
62		635	72	53	98	2	3				1591	1
0.22		2.26	0.26	0.19	0.35	0.01	0.01				5.67	0
1390		1556	308	469	335	140	25	25	171	897	15272	5
0.61		0.68	0.13	0.21	0.15	0.06	0.01	0.01	0.07	0.39	6.68	5
2730		141	48	51	151	11			6		4960	1
4.40		0.23	0.08	0.08	0.24	0.02			0.01		7.99	1
207			87	64	61	2	8		2		1629	(2)
0.65			0.27	0.20	0.19	0.01	0.03		00.1		5.09	0
457			246	95	246	33	38	146	24	3	9392	2
0.34			0.19	0.07	0.19	0.02	0.03	0.11	0.02	0.0	7.11	3
102			131	79	65	28	54	16	10		5594	1
0.17			0.22	0.14	0.11	0.05	0.09	0.03	0.02		9.57	1
199			809	442	488	151	92	200	61	227	26450	3
0.07			0.28	0.15	0.17	0.05	0.03	0.07	0.02	0.08	9.09	4
80	7		33		16	979			69	2471	3692	0
0.07	0.01		0.03		0.01	0.92			0.06	2.32	3.46	3
7032	19		410	21	2848	373	2	40	748	5564	22758	5
0.81	0.0		0.05	0.0	0.33	0.04	0.0	0.0	0.09	0.64	2.62	31
19222	30	2332	9792	4348	7698	2343	738	576	3428	13380	171,308	56
0.04	0.0	0.05	0.22	0.10	0.18	0.05	0.02	0.01	0.08	0.30	3.90	101

Size composition, October 1953

月別、漁場別、鮪類体長組成表 (昭和30年10月操業分)

(別表 2)

魚種	Ships 測定船数	Ground 漁場	Area 操業位置	Station 操業回數		<50 cm 以下	51—60	61—~~80~~ 70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	>151 cm 以上	Total	漁獲尾數
	10	30°—40°N 150°—180°E	28°—37°N 179°—159°W	229	尾數 %	no. %						1 0.7	5 3.7	30 22.2	41 30.4	8 5.9	50 37.1	135 100	338
	8	ミッドウエー	27°—32°N 179°—158°W	161									7 4.1	37 21.5	27 15.7	23 13.4	78 45.4	172 100	279
	2	0°—20°N 140°W以東	6°—8°N 141°—137°W	49								1 0.5	8 3.7	18 8.2	50 22.8	86 39.3	56 25.6	219 100	1209
	6	ハワイ南東	6°—11°N 159°—140°W	145				1 0.1	1 0.1	1 0.1	2 0.3	9 1.3	35 5.0	42 6.0	147 21.2	253 36.4	204 29.4	695 100	2810
き	4	ハワイ南西 5°N 以北	4°—11°N 176°—162°W	74						1 0.5		4 1.8	66 29.9	79 35.7	38 17.2	21 9.5	12 5.5	221 100	617
	2	〃 5°N 以南	1°—7°N 180°—175°W	46						1 0.2		13 2.0	54 8.5	173 27.1	266 41.6	110 17.2	22 3.4	639 100	2274
YF	1	トンガ	19°—22°S 178°E-176°W	20								1 0.5	6 3.2	10 5.3	51 27.1	76 40.4	44 23.4	188 100	305
	1	南洋北部 170°E 以東	10°—11°N 173°—174°E	11									25 41.7	13 21.7	12 20.0	8 13.3	2 3.3	60 100	141
	1	南洋南部 170°E 以西	3°—10°N 151°—158°E	17			1 0.8	4 3.3	14 11.7	12 10.0	5 4.2	9 7.5	36 30.0	26 21.7	13 10.8			120 100	120
は	4	〃 170°E 以東	3°—11°N 161°—180°E	102								6 4.5	11 8.3	32 24.2	22 16.7	23 17.4	38 28.7	132 100	478
	6	ソロモン	2°N—14°S 144°—174°E	128				1 0.1	11 0.8	34 2.4	31 2.1	24 1.7	87 6.0	356 24.7	400 27.7	347 24.0	153 10.6	1444 100	5057
	5	ニユー カレドニヤ	16°—28°S 146°—160°E	138						2 0.2	11 1.3	12 1.4	104 12.4	236 28.2	262 31.3	146 17.4	64 7.7	837 100	3402
	5	ジヤワ	8°—12°S 105°—117°E	125					6 0.7	13 1.5	53 6.2	117 13.6	177 20.6	163 19.0	218 25.3	97 11.3	16 1.8	850 100	4464
	1	濠洲西方	18°—23°S 110°—115°E	41									4 2.1	14 7.4	35 18.6	111 59.0	24 12.8	188 100	1591
だ	3	中部印度洋	0°—7°S 72°—87°E	75						14 1.0	20 1.4	41 2.9	231 16.1	274 19.1	462 32.2	283 19.7	112 7.8	1437 100	7114

	1	アラビヤ	4°—5°N 54°—56°E	29										5 1.6	155 49.8	107 34.4	44 14.2	311 100	4110
	4	西部印度洋	2°N—9°N 45°—75°E	128							1 0.1	8 0.5	52 3.3	150 9.6	725 46.3	510 32.6	119 7.6	1565 100	14654
	1	40°—45°N 150°—180°E	40°—42°N 168°—173°E	15									1 100					1 100	3
	22	35°—40°N 150°—180°E	34°—40°N 149°—179°E	437				6 3.0	4 2.0	2 1.0			10 5.0	26 12.9	70 34.7	46 22.8	38 18.8	202 100	207
〃	〃	〃	〃	〃		<80 cm 以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	>181 cm 以上	〃	〃
	12	30°—40°N 180°—140°W	28°—37°N 179°E-159°W	268	〃	153 6.4	85 3.5	17 0.7	14 0.6	132 5.5	352 14.7	161 6.7	437 18.2	408 17.0	407 16.9	197 8.2	39 1.6	2402 100	6242
	8	ミッドウェー	27°—32°N 179°—158°W	161		102 6.5	96 6.1	9 0.6	11 0.7	102 6.5	240 15.3	123 7.8	240 15.3	222 14.1	267 17.0	134 8.5	26 1.7	1572 100	3006
め	2	0°—20°N 140°W以東	6°—8°N 141°—137°W	49						2 0.5	30 7.1	77 18.2	74 17.5	97 23.0	73 17.3	48 11.4	21 5.0	422 100	3499
	6	ハワイ南東	6°—11°N 159°—140°W	145			1 0.1	4 0.3	4 0.3	71 4.5	197 12.4	326 20.4	296 18.6	248 15.5	212 13.3	120 7.5	116 7.3	1595 100	5591
	5	ハワイ南西 5°N 以北	4°—11°N 176°—162°W	86		1 0.1	5 0.7	9 1.2	20 2.6	47 6.1	102 13.3	130 16.9	148 19.2	118 15.3	120 15.6	53 6.9	16 2.1	769 100	1899
ば	2	〃 5°N 以南	1°—7°N 180°—175°W	46		7 2.8	5 1.9	5 1.9	44 17.1	37 14.4	28 10.9	39 15.2	39 15.2	37 14.4	6 2.3	10 3.9		257 100	365
	1	トンガ	19°—22°S 178°E-176°W	20		6 6.6	2 2.2		2 2.2	12 13.2	10 11.0	18 19.8	16 17.6	16 17.6	8 8.8	1 1.1		91 100	201
	1	南洋北部 170°E 以東	10°—11°N 173°—174°E	11						19 37.3	11 21.6	11 21.6	6 11.8	2 3.9	2 3.9			51 100	51
ち	1	南洋南部 170°E 以西	3°—10°N 151°—158°E	17		2 1.2	6 3.5	1 0.6	13 7.6	40 23.5	32 18.8	38 22.4	33 19.4	5 2.9				170 100	185
	4	〃 170°E 以東	3°—11°N 161°—180°E	106		2 0.2	2 0.2	3 0.3	10 1.1	95 10.4	169 18.4	201 21.9	184 20.1	90 9.8	94 10.3	59 6.4	9 1.0	916 100	1892
	6	ソロモン	2°N—14°S 144°—172°E	128		2 1.1	1 0.6	3 1.7	8 4.5	35 19.9	47 26.7	34 19.3	30 17.0	13 7.4	2 1.1	1 0.6		176 100	485
	3	ニューカレドニヤ	16°—28°S 146°—157°E	70					10 8.5	25 21.4	29 24.8	20 17.1	19 16.2	5 4.3	8 6.8	1 0.9		117 100	357

BE

（別 表 2）

魚種	測定船数	漁場	操業位置	操業回数		<80 cm 以下	81—90	91—100	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181 cm 以上	計	漁獲尾数
	5	ジ ヤ ワ	8°—12°S 105°—117°E	125	尾數 %	5 0.4	10 0.8	41 3.1	23 1.7	114 8.6	227 17.1	292 22.0	296 22.3	248 18.7	69 5.2	4 0.3		1329 100	5229
め	1	濠 洲 西 方	18°—23°S 110°—115°E	41					1 1.3	2 2.6	12 15.8	19 25.0	28 36.8	7 9.2	7 9.2			76 100	231
	3	中部印度洋	0°—7°S 72°—87°E	75		5 1.7	13 4.5	17 5.8	29 9.9	68 23.3	39 13.4	36 12.3	45 15.4	33 11.3	7 2.4			292 100	990
ば	1	ア ラ ビ ヤ	4°—5°N 54°—56°E	29					1 0.7	22 14.6	10 6.6	24 15.9	47 31.1	20 13.2	19 12.6	8 5.3		151 100	999
	4	西部印度洋	2°N—9°S 45°—75°E	128			13 1.5	7 0.8	40 4.7	90 10.5	76 8.8	95 11.0	155 18.0	216 25.1	143 16.6	23 2.7	2 0.2	860 100	3204
ち	1	40°—45°N 150°—180°E	40°—42°N 168°—173°E	15						2 33.3	1 16.7		1 16.7	1 16.7	1 16.7			6 100	6
	30	35°—40°N 150°—180°E	34°—40°N 149°E-179°W	608		121 3.3	125 3.5	13 0.4	68 1.9	688 19.1	498 13.8	504 14.0	595 16.5	438 12.1	400 11.1	132 3.7	28 0.8	3610 100	4010
〃	〃	〃	〃	〃		40 cm 以下	41—50	51—60	61—70	71—80	81—90	91—100	101—110	111—120	121 cm 以上			〃	〃
	10	30°—40°N 180°—140°W	28°—37°N 179°E-159°W	212	〃						2 2.1	24 24.7	31 32.0	40 41.2				97 100	217
	5	ミ ッ ド ウ エ ー	27°—32°N 179°—160°W	101					8 18.2	6 13.6	5 11.4	1 2.3	6 13.6	18 40.9				44 100	45
び	1	ハワイ南東	7°—8°N 158°—152°W	17							3 50.0	2 33.3	1 16.7					6 100	6
	1	ハワイ南西 5°N 以 北	4°—8°N 176°—169°W	23							11 73.3	4 26.7						15 100	15
ん	1	〃 5°N 以 南	1°—7°N 177°—175°W	22							13 34.2	25 65.8						38 100	39
	1	ト ン ガ	19°—22°S 178°E-176°W	20								46 40.0	69 60.0					115 100	1228
な	3	ソ ロ モ ン	2°N—14°S 149°—172°E	65					3 2.8	2 1.9	69 65.1	29 27.4	3 2.8					106 100	838

BE

AL

が	1	ジャワ	8°—12°S 109°—117°E	22								120 73.2	43 26.2	1 0.6				164 100	(328)
	1	中部印度洋	1°—4°S 72°—87°E	26								19 42.2	21 46.7	5 11.1				45 100	369
	2	40°—45°N 150°—180°E	40°—44°N 165°—173°E	33						16 50.0	16 50.0							32 100	32
	29	35°—40°N 150°—180°E	30°—41°N 149°E-179°W	575						59 3.4	1092 62.2	336 19.1	198 11.3	71 4.0	1 0.1			1757 100	4531
〃	〃	〃	〃	〃		140 cm 以下	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—240	241 cm 以上	〃	〃
BT くろまぐろ	1	40°—45°N 150°—180°E	40°—44°N 165°—171°E	18	〃	2 28.6	1 14.3	4 57.1										7 100	7
	6	35°—40°N 150°—180°E	35°—41°N 154°—179°E	115				1 11.1	1 11.1	1 11.1	2 22.2	2 22.2	2 22.2					9 100	11
〃	〃	〃	〃	〃		100 cm 以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201 cm 以上	〃	〃
SBF いんど	1	ジャワ	8°—12°S 109°—117°E	22	〃				1 0.2	7 1.6	118 26.2	202 44.8	107 23.7	15 3.3	1 0.2			451 100	566
〃	〃	〃	〃	〃		140 cm 以下	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—260	261 cm 以上	〃	〃
BM くろかわ	12	30°—40°N 180°—140°W	28°—37°N 179°E-159°W	268	〃		2 0.9	2 0.9	9 4.2	13 6.1	11 5.2	4 1.9	32 15.0	42 19.7	38 17.8	56 26.3	4 2.0	213 100	390
	8	ミッドウェー	27°—32°N 179°—158°W	161		3 1.9	3 1.9	5 3.2	5 3.2	9 5.7	4 2.5	13 8.2	19 12.0	37 23.4	33 20.9	22 13.9	5 3.2	158 100	222
	2	20°—40°N 140°W以東	6°—8°N 141°—137°W	49				7 6.9	11 10.9	19 18.8	30 29.7	13 12.9	7 6.9	3 3.0	3 3.0	5 5.0	3 3.0	101 100	721
	6	ハワイ南東	6°—11°N 159°—140°W	145		3 0.9	7 2.2	19 6.0	47 14.9	68 21.6	72 22.9	26 8.3	12 3.8	12 3.8	22 7.0	21 6.7	6 1.9	315 100	1066
	5	ハワイ南西 5°N 以北	4°—11°N 176°—162°W	86		10 2.4	9 2.2	27 6.7	92 22.9	111 27.6	49 12.2	28 7.0	13 3.2	11 2.7	28 7.0	21 5.2	3 0.7	402 100	935
	2	〃 5°N 以南	1°—7°N 180°—175°W	46		3 1.8	3 1.8	24 14.4	33 19.8	28 16.8	12 7.2	15 9.0	9 5.4	10 6.0	12 7.2	17 10.2	1 0.6	167 100	263

（別 表 2）

魚種	測定船數	漁場	操業位置	操業回數		140 cm 以下	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201—210	211—220	221—230	231—260	261 cm 以上	計	漁獲尾數
く か わ	1	ト ン ガ	19°—22°S 178°E-176°W	20	尾數 %		1 3.4			11 37.9	8 27.6			4 13.8	3 10.3	2 6.8		29 100	48
	1	南洋北部 170°E 以東	10°—11°N 173°—174°E	11		1 1.6	1 1.6	10 15.6	27 42.2	10 15.6	9 14.1				2 0.02	4 6.3		64 100	64
	1	南洋南部 170°E 以西	3°—10°N 151°—158°E	17		8 6.6	18 14.6	41 33.3	33 26.8	6 4.9	4 3.3	2 1.6	4 3.3	5 4.1		2 1.6		123 100	127
	4	〃 170°E 以東	3°—11°N 161°—180°E	123		17 2.8	37 6.2	113 19.0	168 28.2	109 18.2	45 7.6	17 2.9	24 4.0	26 4.4	14 2.3	23 3.8	3 0.5	596 100	1041
	6	ソ ロ モ ン	2°N—14°S 144°—172°E	128		19 6.8	17 6.1	66 23.7	63 22.7	35 12.6	15 5.4	23 8.3	10 3.6	9 3.2	8 2.9	12 4.4	1 0.4	278 100	699
	4	ニ ュ ー カレドニヤ	16°—28°S 146°—160°E	131		16 11.5	29 21.0	51 37.0	14 10.1	10 7.2	3 2.2	4 2.9	3 2.2	1 0.7	4 2.9	2 1.4	1 0.7	138 100	531
	5	ジ ャ ワ	8°—12°S 105°—117°E	125			4 4.0	2 2.0	13 13.0	17 17.0	21 21.0	15 15.0	6 6.0	7 7.0	6 6.0	7 7.0	2 2.0	100 100	299
	1	濠洲西方	18°—23°S 110°—115°E	41							1 5.6		1 5.6	4 22.2	5 27.8	6 33.3	1 5.6	18 100	48
	3	中部印度洋	0°—7°S 72°—87°E	75			1 1.2	6 7.1	19 22.4	13 15.3	11 12.9	9 10.6	2 2.4	7 8.2	5 5.9	11 12.9	1 1.2	85 100	246
	1	ア ラ ビ ヤ	4°—5°N 54°—56°E	29					1 10.0	1 10.0	2 20.0	2 20.0	1 10.0			3 30.0		10 100	131
	4	西部印度洋	2°N—9°S 45°—75°E	128			2 0.8	13 5.2	40 15.9	74 29.5	48 19.1	14 5.6	16 6.4	13 5.2	13 5.2	14 5.6	4 1.6	251 100	639
	1	40°—45°N 150°—180°E	40°—42°N 168°—173°E	15		24 75.0	4 12.5	1 3.1	3 9.4									32 100	32
	30	35°—40°N 150°—180°E	34°—41°N 149°E-179°W	608		1 0.3	2 0.6	8 2.6	10 3.2	25 8.1	28 9.1	44 14.2	53 17.2	69 22.3	38 12.3	19 9.4	2 0.6	309 100	340
	1	30°—40°N 180°—140°W	29°—32°N 179°—170°W	19						1 100								1 100	1
	1	ミ ッ ド ウ エ ー	27°—31°N 163°—157°W	31			1 50.0				1 50.0							2 100	2

BM

し	2	0°—20°N 140°W以東	6°—8°N 141°—137°W	49						4 57.1	1 14.3				2 28.6		7 100	24
	5	ハツイ南東	6°—8°N 168°—140°W	125						3 37.5	1 12.5		1 12.5	1 12.5		2 25.0	8 100	29
	1	ハワイ南西 5°N 以北	4°—8°N 176°—169°W	23				1 50.0		1 50.0							2 100	2
ろ	2	〃 5°N 以南	1°—7°N 180°—175°W	46			2 14.3	1 7.1	2 14.3	1 7.1	1 7.1		1 7.1		4 28.5	2 14.3	14 100	14
	1	トンガ	19°—22°S 178°E-176°W	20					1 25.0	1 25.0	1 25.0			1 25.0			4 100	4
	1	南洋南部 170°E 以西	3°—10°N 151°—158°E	17				1 100									1 100	1
か	4	ソロモン	11°—14°S 144°—154°E	86	5 3.1	3 1.8	17 10.4	16 9.8	17 10.4	25 15.3	23 14.1	8 4.9	9 5.5	7 4.3	19 11.7	14 8.6	163 100	871
	5	ニユー カレドニヤ	16°—28°S 146°—160°E	138	1 0.3	1 0.3	6 1.7	41 11.7	59 16.8	60 17.1	51 14.5	31 8.8	31 8.8	32 9.1	28 8.0	10 2.8	351 100	1521
	5	ジヤワ	8°—12°S 105°—117°E	125	20 13.2	38 25.2	27 17.9	13 8.6	14 9.3	18 11.9	6 4.0	6 4.0	3 2.0	1 0.7	3 2.0	2 1.3	151 100	433
わ	1	濠洲西方	18°—23°S 110°—115°E	41	1 3.8		1 3.8	1 3.8		3 11.5	2 7.7	3 11.5	2 7.7	3 11.5	8 30.7	2 7.7	26 100	51
	3	中部印度洋	0°—7°S 72°—87°E	75		1 4.0		2 8.0	1 4.0	2 8.0	3 12.0	2 8.0	6 24.0	2 8.0	4 16.0	2 8.0	25 100	95
	1	アラビヤ	4°—5°N 54°—56°E	29					1 16.7		1 16.7		1 16.7	2 33.3	1 16.7		6 100	79
	4	西部印度洋	2°N—9°S 45°—75°E	128			1 1.3	1 1.3	3 3.8	6 7.5	8 10.0	20 25.0	14 17.5	10 12.5	12 14.9	5 6.3	80 100	381
	13	35°—40°N 150°—180°E	34°—40°N 149°E-179°W	265		1 5.9	2 11.8	4 23.5	5 29.4	1 5.9	1 5.9	1 5.9			2 11.8		17 100	21

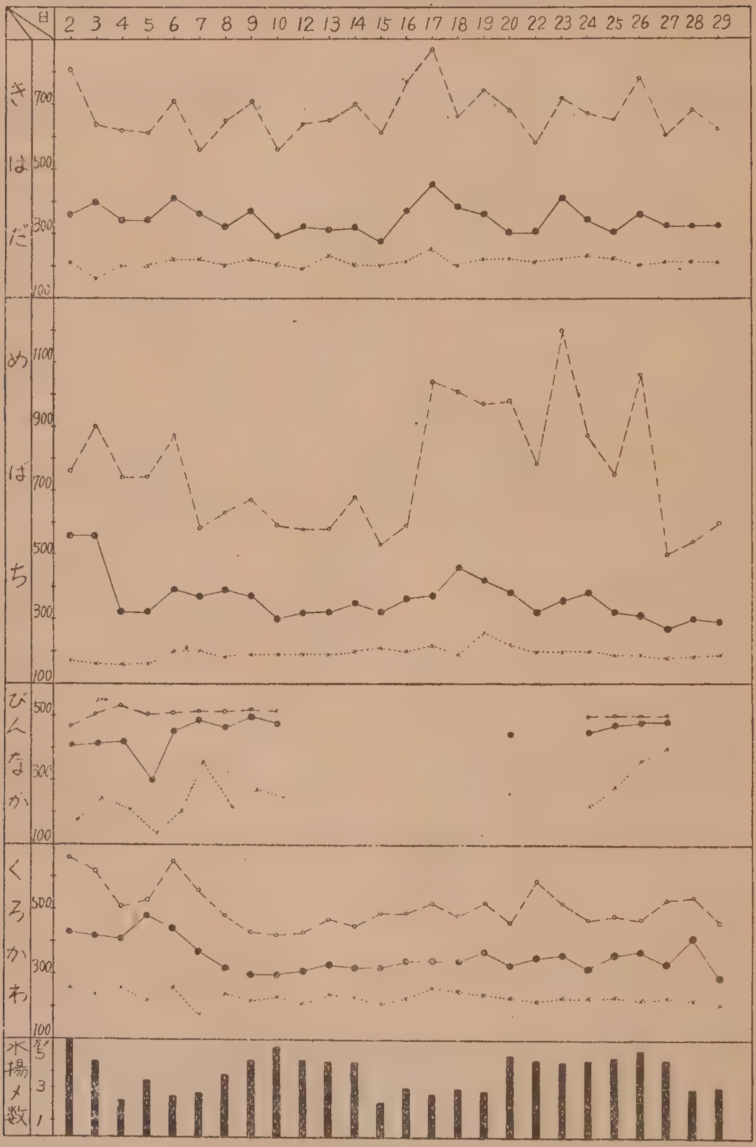
（別 表 2

魚種	測定船數	漁　場	操業位置	操業回數		100 cm 以下	101—110	111—120	121—130	131—140	141—150	151—160	161—170	171—180	181—190	191—200	201 cm 以上	計	漁獲尾數
	11	30°—40°N 180°—180°W	28°—37°N 179°E-159°W	238	尾數 %	1 0.3		3 1.0	17 5.7	91 30.7	105 35.5	45 15.2	15 5.1	10 3.4	7 2.4	2 0.7		296 100	464
	8	ミッドウエー	27°—32°N 179°—158°W	161		3 0.8			12 3.1	97 25.0	125 32.2	93 24.0	33 8.5	18 4.6	6 1.5	1 0.3		1 100	10
	1	0°—20°N 140°W以東	6°—8°N 141°—137°W	24											1 100			1 100	10
ま	5	ハワイ南東	6°—11°N 159°—140°W	121										6 13.0	15 32.6	15 32.6	10 21.8	46 100	70
	2	ハワイ南西 5°N 以北	7°—11°N 174°—162°W	22									1 50.0		1 50.0			2 100	4
	2	〃 5°N 以南	1°—7°N 180°—175°W	46					2 2.9	1 1.4	9 12.9	8 11.4	2 2.9	4 5.7		11 15.7	33 47.1	70 100	70
	1	トンガ	19°—22°S 178°E-176°W	20										2 1.3	6 4.0	28 18.5	115 76.1	151 100	269
	1	南洋南部 170°E 以西	3°—10°N 151°—158°E	17		34 87.2	3 7.7		2 5.1									39 100	39
	4	〃 170°E 以東	3°—11°N 161°—180°E	106		1 3.2	2 6.5	1 3.2			5 16.1	4 12.9	4 12.9	3 9.7		8 25.8	3 9.7	31 100	92
	2	ソロモン	2°N—14°S 149°—172°E	41										3 7.5	4 10.0	15 37.5	18 45.0	40 100	104
じ	3	ニユー カレドニヤ	16°—27°S 146°—160°E	75											6 8.6	27 38.6	37 52.8	70 100	587
	5	ジヤワ	8°—12°S 105°—117°E	125						7 5.0	18 12.9	12 8.6	23 16.5	41 29.5	31 22.3	4 2.9	3 2.2	139 100	327
	1	濠洲西方	18°—23°S 110°—115°E	41							2 1.4	8 5.6	34 23.9	75 52.8	17 12.0	5 3.5	1 0.7	142 100	151
き	3	中部印度洋	0°—7°S 72°—87°E	75								3 3.0	8 7.9	38 37.6	40 39.6	11 10.9	1 1.0	101 100	246
	1	アラビヤ	4°—5°N 54°—56°E	29										4 50.0	3 37.5	1 12.5		8 100	65

3M

	4	西部印度洋	2°N—9°S 45°—75°E	128							2 1.7	20 16.7	44 36.7	45 37.5	9 7.5		120 100	374
	1	40°—45°N 150°—180°E	40°—44°N 165°—171°E	18							1 25.0	1 25.0	2 50.0				4 100	5
	29	35°—40°N 150°—180°E	34°—41°N 151°E-179°W	586			1 0·1	24 1.4	195 11.2	629 36.1	562 32.2	224 12.9	86 4.9	20 1.1	2 0.1		1743 100	2009
めかじき	9	30°—40°N 180°—140°W	28°—37°N 179°—159°W	196	27 39.0	2 2.9	5 7.2	3 4.3	11 15.9	9 13.0	7 10.1	4 5.8				1 1.5	69 100	71
	5	ミッドウェー	27°—32°N 179°—160°W	101	5 62.5	1 12.5	2 25.0										8 100	8
	1	ハワイ南東	7°—8°N 158°—152°W	17		1 11.1		1 11.1	2 22.2		1 11.1	1 11.1	2 22.2			1 11.1	9 100	(14)
	3	ハワイ南西 5°N 以北	4°—11°N 176°—162°W	49		2 25.0				1 12.5	1 12.5	3 37.5				1 12.5	8 100	13
	2	〃 5°N 以南	1°—7°N 180°—175°W	46	4 40.0	1 10.0		2 20.0			1 10.0	1 10.0	1 10.0				10 100	15
	1	トンガ	19°—22°S 178°E-176°W	20						1 16.7	3 50.0	1 16.7			1 16.7		6 100	11
	1	南洋南部 170°E 以西	3°—10°N 151°—158°E	17	3 75.0				1 25.0								4 100	4
	1	〃 170°E 東以	7°—10°N 171°—180°E	26	3 100												3 100	3
	1	ジャワ	8°—12°S 109°—117°E	22		1 6.7	3 20.0		7 46.7	2 13.3	1 6.7			1 6.7			15 100	15
	1	中部印度洋	1°—4°S 72°—87°E	26	1 5.9	2 11.8	2 11.8	1 5.9	2 11.8	2 11.8	5 29.4	2 11.8					17 100	18
	1	西部印度洋	0°—7°S 54°—66°E	27		1 7.7	3 23.1	2 15.4	2 15.4	2 15.4	1 7.7	2 15.4					13 100	13
	3	40°—45°N 150°—180°E	40°—44°N 165°—173°E	53	12 1.9	6 1.0	9 1.5	36 5.8	48 7.8	110 17.8	122 19.7	97 15.7	65 10.5	55 8.9	25 4.0	34 5.5	619 100	684
	30	35°—40°N 150°—180°E	34°—41°N 149°E-179°W	599	61 20.8	11 3.8	20 6.8	22 7.5	35 11.9	37 12.6	38 13.0	27 9.2	13 4.4	9 3.1	8 2.7	12 4.1	293 100	296

鮪類水揚価格表（三崎）昭和31年2月



（航路告示第191号）

北太平洋に於ける核実験について

米国原子力委員会の発表によれば、核実験のため北太平洋マーシャル諸島エニウエトック（ブラウン島）附近一帯は4月20日より危険区域に指定される。この区域は左記6地点を順次連絡する線により囲まれる海面で8月末頃迄に解除される見込。

(イ)	北緯 18度30分	東経 158度
(ロ)	〃 18度30分	〃 172度
(ハ)	〃 11度30分	〃 172度
(ニ)	北緯 11度30分	東経 166度16分
(ホ)	〃 10度15分	〃 166度16分
(ヘ)	〃 10度15分	〃 158度

附近航行中の船舶は区域内に立入らぬ様注意を要す。

標識鮪の再捕により鮪類の広範圍に亘る迴游性と成長度の大なること判明

フイシエリー・プロダクト・レポート
（Eeb. 15. 1956）より

§. 在ハワイ太平洋水産研究所長アルベルト・L・テスター博士発表によると、最近2尾の標識鮪（1尾はビンチョウ鮪、1尾は鰹）が再捕されて、この種鮪類の洄游移動と成長度を知る上に非常な貢献をなしつつあることを報告している。

この1尾のビンチョウ鮪は、太平洋水産研究所試験調査船ジョン・R．マンニング号により1954年10月5日にハワイ諸島北方1300浬の地点に標識放流されたもので、日本人漁夫により日本沿海区域にて再捕された。

標識をつけられたビンチョウ鮪——スパゲッティ（マカロニ）の一片に似た標識をつけられたビンチョウ鮪——が放流されてから471日を経つて1956年1月19日に東京湾入口より北東約75浬附近の所で再捕されている。魚の背中につけられた白色の「スパゲッティ様」標識に漁師は直ちに気付いた由で早速それを鮪の体長記録と共にホノルルの研究所に返送して寄越した。

この標識魚は放流地点より2670浬を距つたところで再捕されている。が勿論この2点間の往復移動については判然としていない。にもかかわらずこの再捕の事実は北部太平洋に於けるビンチョウ鮪がアメリカ西沿岸と日本近海との間を非常に広範囲に亘る太平洋横断という移動をなす同一の系群に属するものであるということを示す一例証である。

テスター博士は又今迄に日本人によりカルホルニヤ魚類野獣局により西部沿海に於いて放流された標識魚の中4尾のビンチョウ鮪が再捕されていると報告している。

海の鶏として広く普通に知られるビンチョウ鮪は缶詰魚として利用度の高い魚であり、日米両国に於ける漁業者はいづれも中部太平洋の海域と共に日米両国の沿海に於てそれぞれ漁業に従事している。

この最近の標識魚の再捕は又ビンチョウ鮪の成長度についての直接的な一例証を提供している。標識魚が放流された時は体重は15封度（約2貫匁）であつたが、再捕された時は尠くとも40封度(約5貫匁)に成長していた。正確なる重さについてはそのが魚再捕された時の測定方法についての日本からの通信連絡を貰つてから研究所に於いて決定されるであろう。

§. ここハワイ近海に於ても1尾の鰹が標識放流後252日を経つてネプチューン号により再捕されたが、これは今迄に施行された鰹の標識放流で再捕されたものの中で最も長期間を経つて再捕されたものである。

この鰹は漁業調査船チャールス・H・ギルバート号により1955年5月25日に体重平均7封度(800匁）の1魚群からバーバーポイント沖数浬の沖合で標識放流されたものであつた。そしてこれが1956年2月1日に放流地点より30浬を距つたマカプーポイント沖合数浬の地点で再捕された時は14封度（1.7貫）の大きさに成長していた。

ネプチューン号の乗組員達は、その魚が再捕された時は総ての点に於て何等の異常をも見受けられなかつたと報告している。この成長度の割合の早いという事実は季節鰹を目的とする漁業の魚群にはあんまり老成したものはいないということを示すものである。

より多くの長期間に亘るものの再捕が望まれるのであるが、これには漁業者の太平洋水産研究所に対する絶えることなき協力援助が斉しく望まれる次第である。

§. 標識メバチ鮪が日本漁船により漁獲さる:——太平洋海域で放流された標識メバチ鮪の再捕第1号が日本人漁夫により最近齎されて、この種大型鮪の成長並びに移動（習性）を知る上に我々に大きな貢献をなしつつある。

太平洋水産研究所長A・L・テスタアー氏によればこの魚は地方名“メバチシビ”又は“ahi”という名で呼ばれるもので、米国魚類野獣局調査船ジョン・R・マンニング号により1955年1月31日にミッドウエー諸島北東400浬の地点に於て標識放流されたものであつた。

この鮪は日本鮪延縄漁船福島県第5日康丸によつて1955年11月24日 Oahu の正北690浬の地点に於いて漁獲された。この標識鮪は10ヶ月の期間自由に游泳していたものであつて、その期間に尠くも800浬を移動している。放流時と再捕時の測定によりこの鮪は10封度（1.2貫）近く成長していたことが判明した。

この再捕鮪は太平洋水産研究所が1954年1月より1955年9月までに同所の調査船により北部太平洋水域に於て標識放流した総数82尾の中の再捕第1号である。

メバチ鮪について報告された調査資料というものは甚だ尠いが、このメバチ鮪は成長並びに移動について知る上に貢献をなしつつあることのほかに、この再捕の事実はこの場合はアメリカ科学者と日本人漁夫であるが、科学者と漁業者との間の卓越せる相互協力を実際にはつきりと示すものである。

（会員投稿）

昭和三十年を顧みて

福島丸船長　山口裕一郎

昭和30年中には三崎港根拠の鮪漁船だけをみても色んな事故が起きた。切角張切つて内地を出帆したのに無念の思いを残し海に散つた友や、船体を異境に残した方々のことを思い、誠に御同情に堪えない。と同時に之等の事故を再びくり返さない様にその経験を発表し、あらゆる角度から之を研究することが我々の任務であると存ずる次第である。

近来漁船の大型化に依り航海計器類も大分取付けられ5,6年前に比べると漁船もその装備に於て長足の進歩をとげたのである。が、他面海難事故は段々と増加する様な傾向があるにもかかわらず乗員の人命に関する留意等は相変らず昔日のままであるように思う。我々海員は自分のことであるから自らが身辺を省みて大に反省する要がある。海をおそれぬ勇気は大切であるが、より成果を上げるため海難について普段からもつと対策を考えておかねばならぬと思う。海に散つた人々からは聞くわけには行かぬが色々と想像してこうしたらと思うことを述べて会員諸氏の御意見を承りたい。

1. 海上に於て実際に使用に耐えない伝馬をもつて救命艇としている当局もせめられるべきであるが、又之をだまつて作り無用の長物として保存している我々も反省すべきである。ゴムボート（之は格納には便なるも保存手入困難か）救命筏（ラジオブイ付）の方が実用的であり且つ安く出来ると思う。之を搭載させる様に制度を改正させる要がある。

2. 現在の救命胴衣は不便であり。又穴があいたら内容物が散乱し仕末がわるい。又狭い船内ではじやまになる。之を改良し、塩化ビニール製などにしてまくらの様に作つたら長持ちするし各人も大切に身辺に置くことになると思う。

3. 応急食糧についてであるが、日本人は食糧の貯蔵に関しては余り関心がなく、メシは毎回たくものとしているが、一端有事の折他人にはなるべく迷惑のかからぬ様にし、自ら不自由せぬためには、火を用いずに2,3日位は乗員が命をつなぐに足る食糧を常に持つていたいものである。水分も含み、くさらず、かんたんにたべられる様な物を作り、各人に携帯させる様にしたいものである。各位の御研究を願うものである。

4. 荒天にてＳＯＳを発し沈没する様な折にはおそらく天候もわるく正確な位置なども出ないことが多いと思われる。ラジオブイ1個位は用意しておきたい。救助船にとつては1灯の灯でも1本の方位でも非常に大切な参考物件であり有難い筈である。座礁する様な所はどつちにとつてもあぶない所であろうから。

   毎年起る数多くの遭難に当りＳＯＳを発振出来ない場合も多いらしい。こんな時自動的にＳＯＳを発振する様なラジオブイを作つておいて之を発動させて之と共に漂流する様に出来ないものか。

   幾多の尊い人命の捜索救助に要する費用を考えると、之等のものを作るについての国家の補助は当然なされるべきで、成果が上ればそれ丈でも結局国家的な損失は少くなる筈である。

5. 遭難船からの対空連絡には昼は鏡が一番とのことである。又魚つり道具は筏と共に用意さるべきである。鮫だつてイザとなればうまい筈である。米軍の救命筏には、食糧・懐中電灯と共に必ず入つている。連中は金があるからそうやるのではなくて、そう云う心がけだから段々と生活もよくなつたと考えるべきであろう。

病人発生の際の参考として、各地に於ける（外地）病院の所在、医師の在否などについて予め知つておきたいものである。私の知る所次の如し。

○ホノルル＝日本人病院も有り、設備も良、但し治療代は大分高い。

○ミッドウエイ＝盲腸患者をホノルルに空輸せること有り（30年）くわしくは不明。

○マキン島＝医師あるも盲腸手術の設備なし。

○タラワ島＝英国駐在官居り、電信所も有り、医師在、マキン島よりよし。

○ヤップ島＝米人病院有り。

○トラック島＝春島（西岸）に米軍病院有り、白人医2名、他2名、看護婦は島民（内歯科医1名）

各船よりまとめ、又他の方面からも情報を集めたら大いに参考になると考える。　（30.12.22）

◎　会誌第27号（昭和31年2月10日発行）第23頁掲載の「米国の鮪漁業と其の経営の概況」の記事の一部を近着の米誌により訂正して幾分でも完璧を期したいとの著者鶴田三郎先生より御連絡がありましたので、次の様に訂正を願います。

第1表の下段2行共訂正　　第2表の最下段1行訂正、この下に1行追加　　第5表の最下段1行訂正

第1表　カツオ、マグロの漁獲高

1.　総漁獲高（ハワイを含む）

年　次	漁　獲　高（屯）	カリフォルニヤ水揚割合		
		全漁船	活餌釣漁船	
		%	%	
1930	………	…	…	
……	………	…	…	
……	………	…	…	
—53	176,314	81	49	←訂正
—54	195,360	80	47	←訂正

第2表　カリフォルニヤ根拠の漁船による漁獲高

1.　漁具別、魚種別　漁獲高の割合（%）

年　次	キハダ		カツオ		
	餌釣	巾着	餌釣	巾着	
	%	%	%	%	
1948	……	……	……	……	
……	……	……	……	……	
—52	82.8	17.2	87.2	12.8	
—53	71.9	28.1	89.6	10.4	←訂正
—54	85.7	14.3	88.2	11.8	←追加

第5表　協定魚価（1屯当り、弗）

年　次	ビンナガ	キハダ	クロマグロ	マガツオ	ハガツオ	ブリ	
1917	……	……	……	……	……	……	
……	……	……	……	……	……	……	
……	……	……	……	……	……	……	
—50	400	310	310	290	180	180	
—55	330	290	280	250	170	170	←訂正

本会の図書誌の分譲其他について

◎本会発行の図書誌を分譲致しておりますから御申込下さい。漁場天気図は本会にて研究の上編集制定したものでありますから同方面の漁場へ出漁する漁船は是非御利用下さい。

会　　誌【鮪漁業】第6—28号　各100円　郵送料 16円
鮪類水揚地調査報告（自昭和27年5月　至昭和28年4月）
1部 300円（B5判150頁）　郵送料 24円
鮪類水揚地調査報告（自昭和28年5月　至昭和29年3月）
1部 400円（B5判226頁）　郵送料 40円
漁場天気図（東部印度洋、西部太平洋 25°N—25°S 80°E—150°E）昭和29年8月版
1部 250円（B3判50枚綴）　郵送料 48円
鮪漁船操業図（航走距離早見表、鮪類年令対体長体重表刷込）
1枚 50円　郵送料 8円
鮪漁場図（32海区劃に表示したもの）
10枚 100円　郵送料 16円

◎会員各位の鮪漁業に関する調査や研究或は体験、漁具漁法の改良、遭難防止等についての投稿其の他写真を御願いします。

◎本会に入会を希望される方は住所、氏名、職業、会誌の送り先を記入の上年間会費1000円（他に会誌送料200円）を添えて研究会宛御申込下さい。

◎本誌に広告掲載希望の方は、本会伊藤専務理事迄御申込下さい。

◎鮪漁船必携の教書とも云うべき昭和29年度鮪類水揚地調査報告（B5判226頁）が出来上りましたから御希望の方は代金440円（送料40円を含む）を添えて本会宛御申込下さい。

鮪　漁　業
定価100円・送料16円
（1956年3月号）

昭和31年3月10日印刷
昭和31年3月10日発行
監　集　神奈川県水産試験場調査部
編集兼発行人　菅野　進
神奈川県三浦市　神奈川県水産試験場内
発行所　鮪漁業研究会

▷ 最高の技術 ── 永い信用 ◁

営業種目

VHF新聞通信社用
ビーコン装置
超短波通信機
極超短波通信機
高級無線用測定器
放送施設一式
船舶用無線機
ラジオヒーター
高級無線通信機

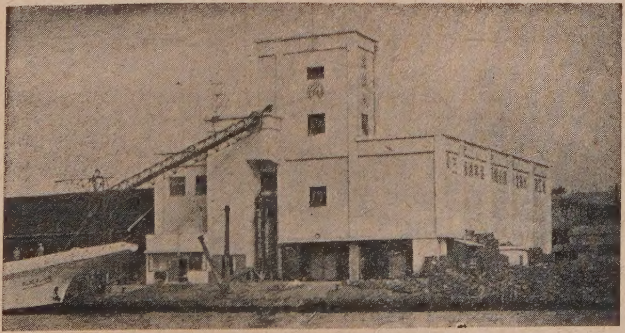
國際電氣株式會社

取締役社長 町田辰次郎

本社・工場 東京都北多摩郡狛江町和泉150 電話砧(41)(代)7171—9番
電話武蔵調布 472番
東京営業所 東京都港区芝西久保桜川町 9 電話芝(43)代表7373—9番
大阪出張所 大阪市北区中之島2の25(江商ビル508号室) 電話北浜(23) 4553番
福岡出張所 福岡市天神町55(伊藤ビル) 電話中(4) 2589番

漁船の氷、餌料の仕込は
三崎漁連へ砕氷設備毎時50屯2基完備
(向ヶ崎・花暮岸壁)

凍結能力 日産一七屯
冷蔵収容量 六〇〇屯

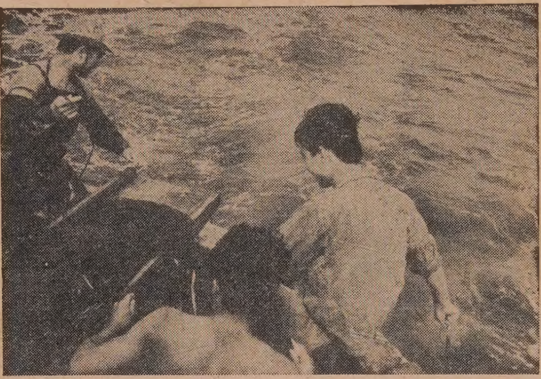


製氷能力 日産五〇瓲
貯氷能力 五五〇瓲

三崎漁業協同組合連合会 (製氷冷凍工場)
会長 寺本正市
(神奈川県三浦郡三崎港 TEL三崎609・655番)

倉敷ビニロン **クレモナ** 万漁

鮪延縄　ロープ　漁網



クレモナ延縄により操業中の江の島丸

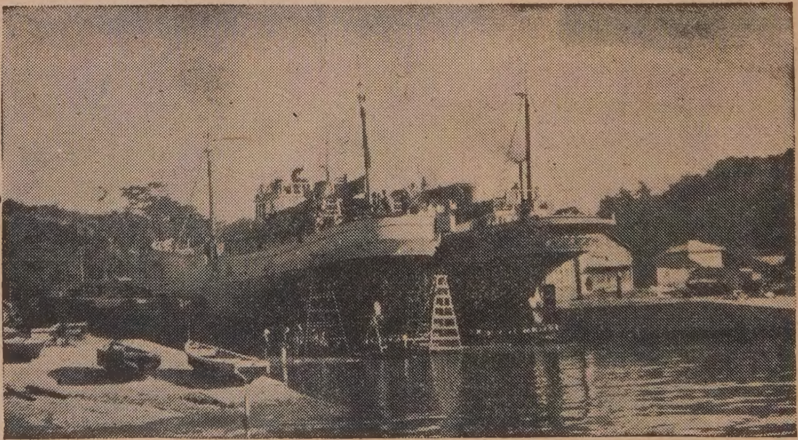
★くさらない
使いやすい
値も安い☆

倉敷レイヨン株式会社

本　社　大阪市北区梅田2（第一生命ビル）
東京事務所　東京都中央区日本橋室町2の4

鋼木船造修一般

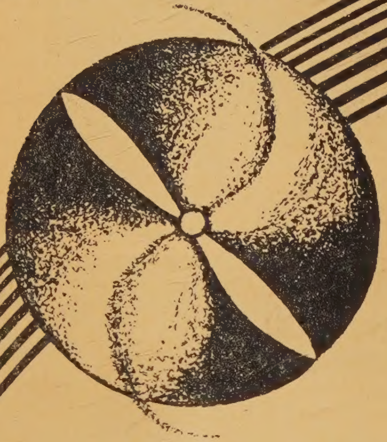
五百屯船台一基



四百屯船台二基

三崎船舶工業株式会社

神奈川県三浦市三崎港（電話 三浦 343 番）

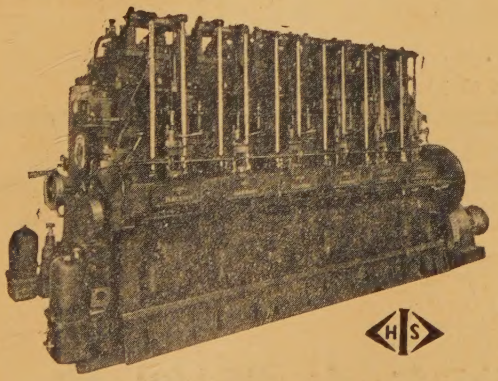


光電の方探

全方向自動直視式

7つの特許が生んだ
世界的製品

株式會社 光電製作所
東京都上大崎長者丸284の1
電話大崎(49)3265.5335.7438.7981



阪神 T6 Z900 HP（鮪漁船第12住吉丸主機関）

ハンシン
ディーゼル

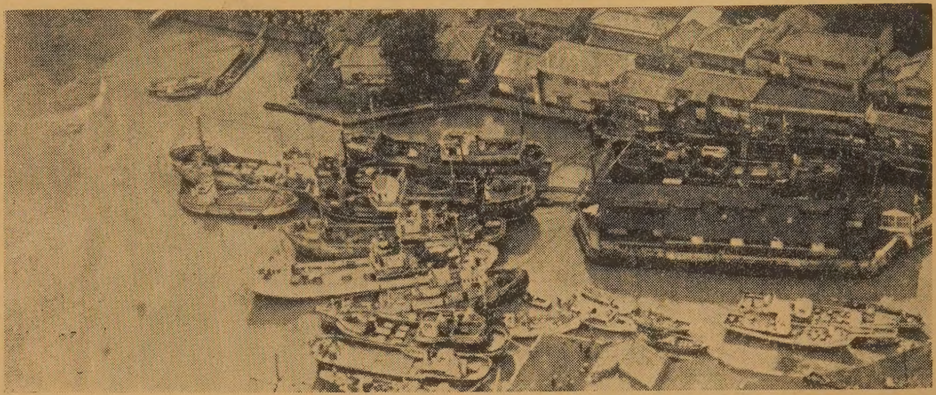
陸舶用ディーゼル
50 HP — 1200 HP

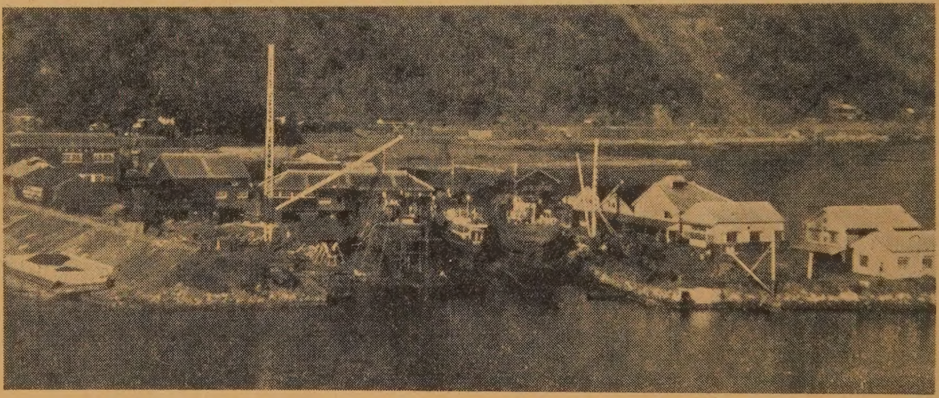
阪神内燃機工業株式会社

本　社　神戸市長田区一番地1丁目　電話 湊川(5) 1531—6
東京支店　東京都千代田区丸ノ内・丸ビル60区　電話和田倉(20)3640—1
下関出張所　下関市豊前田町・第一ビル内　電話 下関 768

漁船の建造修理の御相談は

総噸数　五〇〇噸
長五一米、巾一〇米、深四・五米
ドライドック　一





四条軌条算盤式 二（五〇〇噸）
船架　二条軌条式 二（二五〇噸）

下田船渠株式会社

静岡県下田港　本社工場 電話下田9・10・53　武ヶ浜工場 電話下田77・242
東京事務所　港区芝田村町4の13　電話（43）2539・8635

新工場落成量産開始

★ 太洋無線が全世界に誇る ★

各種
陸上用
航空機用
船舶用

自動方向探知機

太洋無線株式会社

東京都渋谷区衆楽町48番地
電話渋谷（46）代表5283—9番

昭和三十一年二月二十三日第三種郵便物認可